

記事内容

- ☆2012 春季生活闘争 ミニマム賃金アピール
- ☆地域協議会街頭行動 / ミニマム賃金要請
- ☆2012年度版「ネット21運動」ボランティアカード / アドバイザー紹介
- ☆1年間の震災支援
- ☆第83回埼玉県中央メーデー開催について
- ☆ネット21 熊谷事務所開所日の変更 / もうすぐ選挙 / 4月の行動日程
- ☆あけぼのビル

35歳222,000円以下の賃金をなくそう!

2012春季生活闘争 第二次行動

ミニマム賃金アピール



小林直哉会長

3月7日(水)18時より大宮駅東口で、中核組合の春闘交渉の追い上げ促進と、中堅・中小組合の交渉支援を目的に街頭宣伝を実施した。連合埼玉が行なった賃金実態調査の結果から設定した「埼玉県ミニマム賃金」以下の賃金をなくすようアピールするとともに、この考え方を広く宣伝するため「格差是正に向けたミニマム賃金アピール」のチラシも配布した。今回の街宣行動には、女性委員会も参加し「3.8国際女性デーの集会アピール」を訴えた。

小林会長より、「大震災や円高などにより国内外で働く者には厳しい1年だった。今、連合では働く者すべての処遇改善を求める取り組みをしている。連合埼玉中小労組組合員の賃金実態から設定した埼玉県ミニマム賃金である35歳222,000円を下回る賃金をなくしていく運動に理解をしてほしい。また、2012春季生活闘争においては、定昇凍結などの報道がされているが、震災後のさまざまな対応に懸命に協力、努力をしてきた組合員の頑張りに対して、経営側は誠意をもって応えるべきである」と訴えた。



鈴木満執行委員

その後、今後の交渉支援につなげるべく、産業別の春闘報告を行なった。自動車総連の鈴木執行委員からは、「組合員は厳しい環境を真正面から受け止め、震災、タイ洪水などの対応に全力で取り組んでいる。原動力は人である。意欲、活力を引き出す交渉を展開していく」。また、電機連合の平尾執行委員からは、「厳しい環境の中、この1年間復旧・復興へ全力で取り組んだ組合員の思いと、電機産業の将来を見据えた成長分野への構造転換のために、人への投資が不可欠である」と力強い主張がされた。

また、3月8日が国際女性デーであることから、女性委員会横山委員長より「3.8国際女性デー」の意義と男女平等課題の改善に向けた集会アピールを宣言するとともに、女性委員会のメンバーを中心に、女性の尊厳と人権を表すバラの花200本を女性に配布した。



平尾幹雄執行委員



バラの花を配布

連合埼玉2012春季生活闘争 第四次行動

県内4カ所において、中小労組解決促進に向けたアピール行動を行います。

4月 5日(木)	18:00~	熊谷駅北口
4月 6日(金)	18:00~	南越谷駅南口
4月 11日(水)	18:00~	川越駅東口
4月 12日(木)	18:00~	大宮駅東口

各地域協議会とともに街宣行動を行います。

2012春季生活闘争 県内各地域から賃金格差是正を訴える!(第二次行動)

連合埼玉の各地域協議会は3月2日(金)~9日(金)の期間で、2012春季生活闘争第二次行動として、埼玉県におけるミニマム賃金の周知と世論喚起に向け、「賃金格差是正のための埼玉県ミニマム賃金」アピール行動を各駅頭などで実施した。



3/2 東松山駅/比企地域協議会



3/5 狭山市駅/西部第四地域協議会



3/7 川越駅/川越・西入間地域協議会



3/8 北朝霞駅/朝霞・東入間地域協議会



経営団体に「埼玉県ミニマム賃金」の要請行動を開始!(第三次行動)

連合埼玉は、3月19日(月)に賃金格差是正に向け、埼玉県経営者協会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県商工会議所連合会の4団体へ埼玉県ミニマム賃金の要請を行なった。

この要請は、埼玉県内の中堅・中小企業に勤める組合員の賃金実態調査データを基に、各年齢における第1十分位(下から10%)を基本に、連合埼玉が設定した金額を下回る賃金の労働者をなくすことを目的とした要請行動である。

設定金額は、35歳を基準にして、比較し易さなどを考慮し、20歳から45歳までの5歳間隔を設定している。今年は昨年調査した埼玉県内の実態賃金において20歳のポイントで賃金が+3,000円上昇したことから、+5,000円の162,000円、また、35歳については連合関東ブロックの東京、神奈川、千葉、埼玉として首都圏ミニマムを設定し共闘していくことが確認されたことから、+1,000円の222,000円を設定した。冒頭、労働政策委員会・松井委員長(副会長)から「県内の勤労者が安心して働けるよう、埼玉県ミニマム賃金を加盟組織に周知して欲しい」との挨拶がされた。



埼玉県経営者協会



埼玉県中小企業団体中央会



埼玉県商工会議所連合会



埼玉県商工会連合会

その後、佐藤事務局長より要請の概要を、山本副事務局長から埼玉県ミニマム賃金の具体的な説明を行い、意見交換を行なった。

経営団体からは、「経営を取り巻く環境は依然として厳しい」などの意見も出された。連合からは「今回の調査は労働組合のある中小企業の賃金であり、未組織や零細企業においてはもっと賃金が高いことがあり得る。格差是正のためにも理解してほしい」と要請し、経営団体からは、「要請の内容については理解できる部分もあり、会員企業に啓発したい」とのコメントがあった。

また、各地域協議会も3月25日(月)から3月30日(金)の期間を基本に、各地域の商工団体に同様の要請を行なっていく。

ネットワークSAITAMA21運動 2012年度版ボランティアカードが、4月1日から利用可能になります!

「ワンコイン運動」に協力いただいた方に、その証として発行する2012年度版ボランティアカードは、Aタイプ・Bタイプ合計で13,750枚のご協力をいただきました。昨年に対し1,000枚以上、発行枚数を増やすことができました。これまでにご協力頂きました皆さま、ならびに「ネット21運動」の普及・定着活動にご尽力いただきました関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。今年度は、皆さまから頂きましたご意見・ご要望にお応えし、カードデザインの変更を行っています。



また、新たに介護関連サービスの(株)ウイズネットでも利用可能となりました。使用可能店舗の増大など、さらに魅力あるカードにするには皆さまの声が必要です。ボランティアカードを有効にご利用いただくとともに、あわせて「ネット21運動」へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。これからも「ネットワークSAITAMA21運動」は、働く者と市民が、「出会い・つながり・支えあい」をキーワードにした共生の地域社会、暮らしの安心と心が通い合う社会をめざし、邁進してまいります。



2012年度版ボランティアカード(Aタイプ)

ウイズ安心倶楽部



(株)ウイズネットのサービス「ウイズ安心倶楽部」マーク
このマークのあるお店で優待利用ができます。

ウイズ安心倶楽部のサービス内容

- ・地域福祉推進協力店の優待サービス(約50店舗)
- ・保育園優待利用(さいたま市大宮区大成町)
- ・岩盤浴、スパの優待利用(戸田市)
- ・無料介護相談
- ・介護サービス優待利用(福祉用具、住宅改修、紙おむつ等)
- ・安心コール(高齢者安否確認サービス、さいたま市のみ)

新ユニオンアドバイザー紹介!

4月1日よりユニオンアドバイザーとして、新しく4名の方が仲間入りしました。
当面は連合埼玉事務局及び地域事務所において一定期間研修を実施し、地域事務所等に配属されます。

- ①生年月日
- ②出身産別
- ③趣味・特技
- ④抱負



女部田正雄
(おなぶた まさお)

- ①1950年3月18日
- ②電機連合
- ③スポーツ観戦、ゴルフ
- ④関係部門や団体の方々と連携を取りながら、地域協議会や産別・単組での組合活動の経験を活かし、初心にもどり各種業務に取り組みます。



駒込 登
(こまごめ のぼる)

- ①1946年9月12日
- ②JAM埼玉
- ③ヘラブナ釣り、ソフトボール
- ④アドバイザーとして、どこまでできるかわかりませんが、今までの組合役員の経験を活かしたいと思います。



浏岡利夫
(ふちおか としお)

- ①1948年1月17日
- ②情報労連
- ③釣り、軟式テニス
- ④「初心を忘れず日々向上」の精神で勤労者・地域住民との輪を広げ支え合い、「安心づくり・環境づくり・社会づくりの実現」に微力ながらお手伝いしたいと思います。



藤根 実
(ふじね みのる)

- ①1951年8月8日
- ②ユニオン連合埼玉
- ③ウォーキング、読書
家庭菜園
- ④初心を忘れず、今までの経験を活かし、貢献できるように取り組んでいきます。

つながろう NIPPON ～ボランティアで絆づくり～

2011年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする大地震が発生し、地震の揺れ、その後の津波による太平洋沿岸地域への災禍、またそれに伴う福島第一原子力発電所の事故と重複型災害となり、我が国がかつて経験したことのない大災害に見舞われました。

この1年間、連合埼玉では被災地や避難されている方々に対し、多くの組合員・役員の方々の協力をいただき、様々なボランティア活動を実施してきました。これまでの取り組みについて報告いたします。

また、各種支援活動に対し、ご協力いただいた皆様にあらためて心より感謝申し上げます。

◇連合災害救援ボランティアへの参加

【被災地へのボランティア派遣】

- ①期 間:2011年5月2日～6月11日
派遣先:会津ベースキャンプ
活動内容:炊き出し、物資支援、家屋の泥だし、片付け
派遣人数:のべ36人
- ②期 間:2011年6月11日～7月3日
派遣先:住田ベースキャンプ
活動内容:瓦礫撤去、側溝・工場の泥だし、清掃
派遣人数:のべ25人



- ③期 間:2011年7月11日～7月23日
派遣先:住田ベースキャンプ
活動内容:ベースキャンプの運営
瓦礫撤去、解体作業、救援物資の搬入
派遣人数:のべ14人
- ④期 間:2011年7月31日～9月25日
派遣先:大東ベースキャンプ
活動内容:瓦礫撤去、泥だし、清掃、弁当調理補助
派遣人数:のべ186人

ボランティア派遣期間:5月2日～9月25日(128日間)
派遣人数:51名(のべ261人)

◇義援金カンパ等の活動

【連合東北地方太平洋沖地震救援カンパ寄付】

①連合埼玉の義援金カンパ活動

期 間:2011年3月24日～3月31日
2011年5月～9月までの月末

場 所:県内駅頭5カ所
総 額:405,718円

②地域協議会の義援金カンパ活動、チャリティー募金

期 間:2011年3月29日～3月31日
2011年5月～9月までの月末

場 所:県内駅頭23カ所
総 額:806,360円

③ふれあい募金会計拠出金

総 額:5,000,000円

寄付金額合計(①+②+③):6,212,078円

【東日本大震災みやぎ子ども育英募金寄付】

①連合埼玉チャリティーゴルフ大会寄付金

総 額:167,763円

②ふれあい募金会計拠出金

総 額:32,237円

寄付金額合計(①+②):200,000円



◇その他の支援活動

【第82回埼玉県中央メーデー】

日 付:2011年4月29日
場 所:さいたま市・鐘塚公園
内 容:復興支援カンパ:1,079,656円
風評被害払拭のため茨城県産農作物販売
旧騎西高校に避難している双葉町の親子の招待

【県内避難者・避難所へのヒアリング・支援など】

日 付:2011年5月23日、24日、6月20日、25日、29日
7月11日、8月21日
場 所:県内避難所
内 容:避難所の被災者への聞き取り調査、衣類の仕分け作業
衣類・日用品・タオルケット・扇風機の寄贈
夏祭りの設備経費補助、米(5kg)100袋
毛布200枚
(各支援物品の購入にあたっては、埼玉県中央メーデーでのカンパ金より拠出し、657,538円を使用した。)

【狭山茶の購入支援】

販売期間:2011年12月～2012年3月末
販売本数:8,027本
販売金額:6,889,980円
寄付金額:2,066,994円 (※数は、3/26現在です。)

これまでに集約した義援金・カンパ金等は、組織内外を通じて被災者支援金として活用して来ましたが、被災地では復旧に向けた足取りを少しずつ進めています。瓦礫の撤去が進まない地域があるなど、これまでの対応に地域差が発生しており、まだまだ支援が必要な状態が続いています。また、住み慣れない場所での避難生活を余儀なくされている方々も数多くいらっしゃいます。被災された方々が1日でも早く、穏やかに過ごせることが復興・再生への第一歩ではないでしょうか？復興・再生にはこれまでに以上の支援が必要になってきます。引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いします。

おいしいお茶を 飲もう!

安心です!

狭山茶産地協議会

検査済銘柄

埼玉県 狭山茶農産物協同組合

連合埼玉「東日本大震災復興協賛品」
ご購入いただいた商品の本体価格の30%を連合埼玉に寄付し、東日本大震災被災者支援に活かします。

つなごるう NIPPON 連合

連合埼玉 狭山茶農産物協同組合

日本全体でつながり・支えあおう! 第83回埼玉県中央メーデーの開催について

メーデーの起源は、1886年米国シカゴのヘイマーケット広場で労働者たちが8時間労働を求めて立ち上がったのを起源として始まりました。20世紀のメーデーは、とりわけ第2次大戦後のメーデーは、「労働者の社会的地位の向上と権利の拡大、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和の希求」に深く貢献し、着実にその役割を果たしてきました。

そして今、連合は21世紀のメーデーを「平和」「人権」「労働」「環境」および「共生」をテーマに、NGO、NPOとの連携による市民型のメーデーとして開催しています。

なお、今年のメーデーにおいては、東日本大震災からの復興を目的として開催します。よって、式典および、その他模擬店などの販売物に至るまで、被災地ならびに震災避難者支援を念頭においた構成となります。

とき	2012年4月28日(土)9:00~12:00
ところ	さいたま市「鐘塚公園」(大宮駅西口ソニックシティ隣)
規模	5,000名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇メーデー式典 ◇つながろうNIPPON! ～被災地ならびに避難者への応援メッセージ～ ◇狭山茶購入支援 寄付金贈呈式 ◇お楽しみ抽選会 ◇アトラクション 「海賊戦隊ゴーカイジャー」ショー ◇各種模擬店 ※食品等の販売は、数量に限りがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ドリンク(お水、お茶)、狭山茶・関連商品販売 ・味噌まんじゅう(加須市へ避難中の方が作ります) ・浪江焼そば(越谷市へ避難中の方々が作ります) ・牛タン串焼き(宮城県仙台市の方が作ります) ・岩手、宮城、福島、和歌山、埼玉各県の物産販売 ・整膚コーナー(加須市へ避難中の方々が行います) ・埼玉労福協コーナー ◇展示・相談コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・中央労金、全労済、パルシステム埼玉 ◇東日本大震災 県内避難者支援カンパ活動



第82回埼玉県中央メーデー式典の様子



団結ガンバロー

※各模擬店では、無料のビニール袋の用意はしませんので、各自エコバッグをご用意下さい。なお、会場でもエコバッグを販売しますので、ご利用ください。この売上金は全額、県内避難者支援金として、活用します。

メイン・スローガン(案)

日本全体でつながり・支えあおう!すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう!

地域メーデー前夜祭の開催

地域協議会名	開催日時	開催場所
さいたま市	4月26日(木)18:00~	市民会館おのみや

地域メーデーの開催

地域協議会名	開催日時	開催場所
秩父	4月21日(土)9:00~	秩父ミュージックパーク野外ステージ
本庄・児玉郡市	4月29日(日)10:00~	本庄市役所駐車場
北埼玉	5月1日(火)9:30~	行田市県立さきたま古墳公園
	5月1日(火)10:00~	羽生市中央公園自由広場



ライフサポートステーション“ネット21熊谷” 4月1日より開所日を変更



ネット21熊谷事務所は、4月1日より新たに専従者を1名追加し、当初、予定していた2名体制を確立することになりました。

今日まで、ユニオンアドバイザーとして、労働相談・組織拡大等に全力を傾けて頂いた、安井俊則アドバイザーを加え、より一層生活支援サービスの拠点として「ワンストップサービス」をめざしてまいりますので、よろしくお願いたします。

併せて、開所日も拡大し次の通り、変更することとします。



安井俊則ユニオンアドバイザー
出身産別：電機連合

開所時間：9:30～18:00

休 所 日：日曜・祝祭日・年末年始等

= もうすぐ選挙 =

坂戸市議会 議員選挙

◆武井 誠(たけい まこと) 56才(社民党・現1・連合埼玉推薦2回目)組織内：埼玉教組

◆手塚 重美(てづか しげみ) 64才(民主党・前・連合埼玉推薦3回目)

告示日：2012年4月8日(日) 投票日：2012年4月15日(日)

伊奈町長 選挙

◆野川 和好(のがわ かずよし) 63才(無所属・現2・連合埼玉推薦2回目)

告示日：2012年4月17日(火) 投票日：2012年4月22日(日)

現在予定される4月の日程表です

4月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日	
2日	月	
3日	火	教育プロジェクト(10:00～・連合埼玉会議室) 連合春闘「共同推進集会」(15:00～・総評会館)
4日	水	
5日	木	春闘第4次行動(18:00～・熊谷駅北口)
6日	金	春闘第4次行動(18:00～・南越谷駅南口)
7日	土	
8日	日	坂戸市議選挙告示
9日	月	
10日	火	第5回四役・執行委員会(あけぼのビル501)
11日	水	春闘第4次行動(18:00～・川越駅東口)
12日	木	春闘第4次行動(18:00～・大宮駅東口) 連合重点政策討論集会(14:30～ 4/13 12:00・福島グリーンパレス)
13日	金	①青年委員会連合群馬との交流(13:30～・群馬) ②埼玉シニア連合第3回幹事会(14:00～・連合埼玉会議室) ①埼玉労福協企画委員会(10:00～・ときわ会館) ②部落解放同盟埼玉県連合会第60回記念大会(15:00～・ホテルガーデンパレス)
14日	土	青年委員会第4回幹事会(9:00～・群馬)
15日	日	坂戸市議選挙投・開票
16日	月	①埼玉労福協フードバンク研究会第2回準備会(14:00～・ときわ会館) ②「むとう政春感謝の集い」(17:00～19:00・東武ハンケットホール上尾)
17日	火	ネット21運動「第1回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会議室) 伊奈町長選挙告示
18日	水	①女性のためのSTEP UPセミナー(10:00～・さいたま共済会館) ②埼玉シニア連合「第1回ウォーキング」(10:00～・大宮)
19日	木	埼玉労福協理事会(10:00～・ときわ会館)
20日	金	
21日	土	秩父地域協議会メーデー(9:00～・秩父ミュージックパーク野外ステージ)
22日	日	伊奈町長選挙投・開票
23日	月	第4回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・連合埼玉会議室)
24日	火	
25日	水	
26日	木	①埼玉労福協「地域労福協代表者会議」(13:30～・ときわ会館) ②さいたま市地域協議会メーデー前夜祭(18:00～・市民会館おみや)
27日	金	
28日	土	第83回埼玉県中央メーデー(さいたま市・鐘塚公園)
29日	日	本庄・児玉郡地域協議会メーデー(10:00～・本庄市役所駐車場)
30日	月	

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆震災から1年は何の節目か

死者1万5千人を超える犠牲者を出し、福島第一原子力発電所の事故を引き起こして戦後最悪の災害となった東日本大震災から1年が経った。あらためて、思いもよらぬ災害で尊い命を奪われた犠牲者に、心からの哀悼の意を表するとともに、この大地震・大津波で被災されたすべての被災者と福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされている方々など、被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げる。

震災発生から1年を迎えた3月11日、全国各地で追悼行事が行われた。地震発生の午後2時46分には一斉に黙とうが行われ、悲しみと鎮魂の祈りに日本中が包まれた。私は政府主催の追悼式をテレビで見ながらその時を迎えた。黙とうをささげ、あらためて震災について考える1日であった。

東日本大震災による死者は15,854人、行方不明者3,143人(3月21日現在、警察庁まとめ)と戦後最悪の災害であるが、この数字では表すことのできない多くの悲しみや苦しみがある。今も心に負った傷を深めている多くの人達がいる。「絆」と言う言葉が復興支援の合い言葉となり、被災地・被災者の支援に日本中がひとつになっていた震災直後と比べると1年経った今、震災の記憶は薄れ始め、風化しつつあるのではないだろうか。

あの日と今を切り離すことはできない、これからも切り離せない、1年は何の節目にもならない。地震列島に生まれ2011年3月11日を経験した私たち日本人は、決して風化させることなく、震災から得た教訓を次に繋げていかなければならない。このことはいつまでも終わらない責務だと思う。

◆がれきの広域処理を急げ

3月22日、地方連合会事務局長会議が岩手県盛岡市で開催された。会議開催前に、岩手県上野善晴副知事から津波による被害概要や復興計画とその進め方などの報告を受け、続いて、連合岩手砂金文昭会長から東北ブロックからの復興・再生に関する報告として、「被災地で何が起きているか」「これからの課題」について報告を受けた。

翌23日は釜石、大船渡、陸前高田の被災地視察に参加した。かつて多くの市民でにぎわっていた繁華街はその姿を想像することはできず、一方、点在しているがれきの山々からは、尋常でなかった津波の被害を容易に想像できる。

今、災害廃棄物の広域処理を巡って多くの議論がなさ

れている。承知のように大規模な津波により膨大な量の災害廃棄物が発生し、岩手県で通常の一般廃棄物の排出量の約11年分、宮城県で約19年分と言われている。被災地における災害廃棄物の処理は復旧復興の大前提であり、速やかに処理を進めなければならず、被災地では全力を挙げて再生利用や仮設焼却炉の設置による処理を進めているが、それでも最終処分場を含め、処理能力が大幅に不足している。

連合も災害廃棄物の広域処理を進めるために、政府や都道府県知事への要請活動を行っている。埼玉県は岩手県九戸郡野田村の災害廃棄物(木くず)の受け入れを表明しており、3月25日に熊谷、日高、横瀬の県内3カ所のセメント工場で木くず84トンをセメント製造の燃料および材料として処理する実証試験を行った。県は災害廃棄物受け入れにあたり、安心・安全のため、県が現地や受け入れ段階で7段階、細かくは11段階で放射性物質濃度等を測定し、安全なものだけしか受け入れないとしている。今後受入可能な市町村と相談し、地元の理解を得ながら積極的に被災地の復興支援を行うとしている。また、埼玉県議会では2月定例会最終日の3月26日、災害廃棄物受け入れに関する決議が可決された。市町村議会においても決議される議会もでてきており、今後推薦市長・町長や推薦議員と連携をはかり、災害廃棄物受け入れを進める取り組みを強化していきたい。

◆高校球児から学ぶ

連合岩手砂金会長からの報告で、今の被災地の思いが込められている言葉として紹介された、3月21日に開幕した選抜高校野球の石巻工業高等学校野球部阿部翔人主将の選手宣誓の全文を紹介する。

「東日本大震災から1年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくて辛いことです。しかし日本がひとつになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔。見せましょう、日本の底力、絆を。われわれ高校球児ができること、それは全力で戦い抜き、最後まであきらめないことです。今、野球ができることに感謝し、全身全霊で正々堂々とプレーすることを誓います。」

ときに、大人は子どもから大切なことを教わることがある。大人がどんな感動的なことを語っても、どうしても功名心や顕示欲みたいなモノを感じて心に届かないことが多々あるが、子どもたちの言葉は心から溢れでてきた言葉だからこそ、心に響き感動を与えるのだろう。

私たちには何ができるのか、私たちは何を成すべきなのかを、いま一度考え行動すべきである。一時的な絆ではなく、真の絆でつながるために。

2012.3.27